

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第9号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第9号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年(°C)	R4(°C)	平年差(°C)	平年(°C)	R4(°C)	平年差(°C)	平年(°C)	R4(°C)	平年差(°C)	平年(mm)	R4(mm)	平年比(%)	平年(hr)	R4(hr)	平年比(%)
7月	1	25.4	28.7	3.3	29.2	33.5	4.3	22.4	25.2	2.8	90.3	16.5	18	16.3	25.6	157
	2	26.1	28.5	2.4	30.1	33.0	2.9	23.0	25.2	2.2	83.2	14.5	17	20.3	32.7	161
	3	26.7	28.1	1.4	30.9	31.5	0.6	23.5	25.2	1.7	61.9	23.0	37	24.2	14.1	58
	4	27.3			31.8			23.9			43.1			28.0		
	5	27.7			32.5			24.2			36.2			31.4		
	6	28.1			33.0			24.5			39.2			41.0		

○7月3半旬の平均気温は、平年に比べて1.4℃ほど高く、曇天傾向で推移した。

≪福岡管区気象台の1か月天気予報（7月14日発表）（予報期間 7月16日から8月15日まで）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間のはじめは前線や湿った空気の影響を受けやすいため向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：7月19日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
夢しずく 6/18移植 武雄市橋町	本年値	64.9	348	10.0	41.4	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年並み、茎数は平年より少ない。 主幹出葉数は平年より0.3葉少ない。 節間長5mm、幼穂は未確認 葉色は平年より濃い。
	平年値	64.4	374	10.3	40.5	
	平年比	101	93	-0.3	+0.9	
さがびより 6/23移植 武雄市橋町	本年値	47.4	330	8.9	43.6	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年より高く、茎数は少ない。 主稈出葉数は平年より0.4葉少ない。 葉色は平年より濃い。
	平年値	45.5	347	9.3	42.2	
	平年比	104	95	-0.4	+1.4	

※夢しずくおよびさがびよりの平年値はH21～R3の平均値。

(耕種概要)

品 種	年次	苗質		移植日 (月日)	栽植密度 (株/m ²)	備考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	12.5	3.1	6月18日	18.1	前作 大麦
	平年値	14.5	3.0	6月15日	18.4	—
さがびより	本年値	13.8	3.5	6月23日	16.6	前作 大麦
	平年値	13.7	3.3	6月21日	15.9	

3. 管内の生育状況（7月19日時点）

- 1) セタコシヒカリ：現在、黄熟期である。出穂盛期は6月25日～27日となり、積算温度による刈取り予想は7月26日～7月29日頃となる。
- 2) 夢しずく（普通期）：現在、穂首分化期～幼穂形成始期である。
7月3半旬に入り天気は一転して曇天傾向で推移しているため、草丈が伸長し深水管理の圃場では軟弱徒長ぎみの生育である。
- 3) ヒノヒカリ、さがびより：現在、分けつ盛期～穂首分化期前である。

4. 今後の管理

1) コシヒカリ

- ・「コシヒカリ」は、まもなく成熟期を迎える。なお、積算温度による刈取り積算目安表は別紙参照。
- ・早期落水すると充実不足による「ヤセ米」や、「屑米」、「死米」が発生し、品質低下を招くため、収穫1週間前までは必ず間断灌水を実施し、根の活力維持に努める。

2) 普通期水稲

《共通》

◎移植後、気温は高く推移したことで雑草発生が早く、場合によっては除草剤の効果が十分発揮できていない圃場も確認されている。特に「ホタルイ」の発生の有無を確認する。

多発している場合、中後期除草剤により防除する（剤によっては収穫前日数に留意して使用する）

◎移植後、高温少雨の影響を受けて表層剥離が著しく水管理が不十分な圃場では、初期分けつが確保できず茎数不足の圃場も散見されるが、**中干し作業は、移植後35日～40日まで実施する。**

中干しの草丈の目安は、「夢しずく」が45～55cm、「ヒノヒカリ」は40～50cmの間が目安である。（茎数の多少はあるが、この時期以降の分けつ茎は穂にならないため。）いもち病が多発している圃場では、強い中干しは避けるようにする。なお、『中干し作業の効果と時期』については、稲作情報3号および4号参照。

①夢しずく

- ・6月中旬に移植された「夢しずく」は、まもなく幼穂形成始期を迎え穂肥施用時期となる。
穂肥の施用に際しては、下記の穂肥診断基準に基づいて適期適量施用する。
- ・「夢しずく」は、幼穂が1～2mmになるまでは伸長が緩慢であるが、3mm以上になると急激に伸長する。穂肥施用時期が遅れないように注意する。

【夢しずくの穂肥診断基準】

草丈 cm 幼穂形成始期時	葉 色		穂肥施用時期			
	群 落	SPAD	出穂前	幼穂長	穂肥施用量 (N成分:kg/10a)	
7.3 cm 以下	淡い 標準 濃い	3.0 以下	34 以下	20～22 日	1mm	2.0kg/10a
		3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.5kg/10a
穂肥は施用しない						
7.3 cm ～ 7.9 cm	標準 濃い	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.0kg/10a
		3.6 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
8.0 cm 以上	穂肥は施用しない					

②ヒノヒカリ、さがびより

- ・中干し作業の時期をむかえる。なお、中干し作業に移行する際の草丈の目安は、
「ヒノヒカリ」及び「さがびより」は40～50cmの間である。
中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わるが、圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらい。



中干し（黒乾状態）

土壌表面に小さなヒビが入るくらい
また、歩いて足跡が軽くつくが、抵抗なく歩ける硬さ。
写真は、情報田（さがびより）圃場を撮影。

3) 病害虫の発生状況

1) いもち病

- ・ **葉いもちの発生がみられる圃場では、穂ばらみ期の防除を徹底する**とともに、発生が多いと予想される場合（上位3葉に葉いもち病の病斑を確認した時）には穂揃い期にも防除を行う。
薬剤の使用にあたっては、使用時期や回数等の農薬の登録情報に注意する。
- ・ 圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」や「ごま葉枯病」の温床になるため、すみやかに除去する。
- ・ **葉色が濃い圃場で、葉いもち病の病斑を確認している。**
- ・ 窒素過多は発生を助長するので、適切な肥培管理を行なう。
- ・ BLASTAM（ブラスタム）は、いもち病菌の感染に適した条件が表れたかを判定するモデルである。

ブラスタムで好適条件が現れた場合、約1週間後からいもち病の初発あるいは病斑数が急激に増加することが予測されるので注意する。



葉いもち病の病斑
葉色が濃い圃場にて確認

BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況

佐賀県農業技術防除センターHPより

7月

	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
白石	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊万里	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-

- 1: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- 2: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- 3: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温は15～25℃の範囲外）
- 4: 準好適条件（湿潤時間は湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い）
- : 好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した）
- : 好適条件の出現なし
- ?: 判定不能

2) ウンカ類

- ・セジロウンカ、トビイロウンカの誘殺状況については表2参照。また、最新データは、佐賀県農業技術防除センターHPを参照する。
- ・今後の飛来状況や圃場の発生状況（移植時期や品種、箱施用剤の種類、施用の有無、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量や増殖率が異なるため、圃場での発生状況に注意する。

〈表1 管内におけるウンカ類の払い落とし調査結果〉

管内におけるウンカ類の払い落とし調査(R4)

調査日	セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメビウンカ		備考
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
7月19日							
6月12日移植	1	0	0	0	0	0	夢しづく(江北町)
6月18日移植	0	0	0	0	0	0	夢しづく情報田
6月20日移植	0	0	0	0	3	0	さがびより(白石町新拓)
6月23日移植	0	0	0	0	0	0	さがびより情報田

※25 株払落とし総数を計上している。

〈表2 海外飛来性害虫（トビイロウンカ・セジロウンカ）誘殺状況〉 佐賀県農業技術防除センターHP 参照

表1 イネウンカ類のトラップでの捕獲状況(2022年)

月	日	トビイロウンカ		セジロウンカ	
		佐賀県		佐賀県	
		佐賀市 ネットラップ	嬉野市 ライトラップ	佐賀市 ネットラップ	嬉野市 ライトラップ
6月	1日	0	0	0	0
	2日	0	0	0	0
	3日	0	0	0	0
	4日	0	0	0	1
	5日	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0
	9日	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0
	11日	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0
	14日	0	0	0	1
	15日	0	0	0	1
	16日	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0
	19日	0	0	0	1
	20日	0	0	0	4
	21日	0	0	2	0
	22日	0	2	5	1
	23日	1	0	4	0
	24日	1	7	3	2
	25日	1	41	3	18
	26日	0	1	2	2
	27日	0	65	1	8
	28日	0	0	1	1
	29日	0	0	0	0
	30日	0	0	0	0
	31日				
7月	1日	0	0	0	0
	2日	-	0	-	0
	3日	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0
	5日	0	1	0	0
	6日	0	1	0	0
	7日	0	0	0	0
	8日	0	36	0	71
	9日	-	2	-	9
	10日	0	1	0	1
	11日	0	1	0	41
	12日				
	13日				
	14日				
	15日				
	16日				
	17日				
	18日				
	19日				
	20日				
	21日				
	22日				
	23日				
	24日				
	25日				
	26日				
	27日				
	28日				
	29日				
	30日				
	31日				

注)佐賀市のネットラップは、農業試験研究センターで調査。嬉野市ライトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

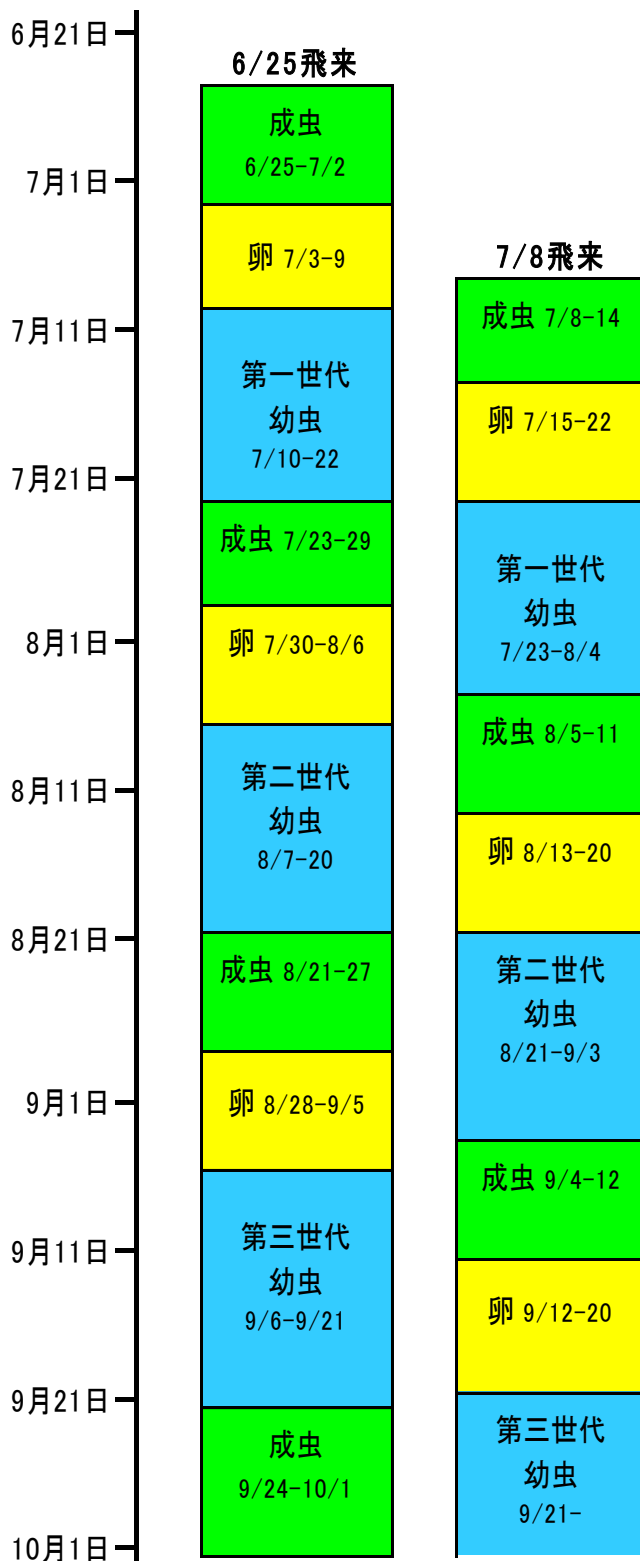


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第2版、2022年7月13日作成)

1. 6月23～25日頃(図では6月25日)、7月8日頃の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月13日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の飛来状況や気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

令和4年産 水稲作付期間気象図
アメダス観測値(白石)

